

# 2018 石川県糖尿病協会 2020

石川県糖尿病協会

会長 早戸 武志



# 糖尿病協会の1年のふりかえり

①患者と、医師や医療スタッフの協力で、取り組みが進みました。

②行政、各団体の協力で、啓蒙活動を取り組みました。

- ・総会やウォークラリー大会の参加者が増えました
- ・ライオンズ地区総会で糖尿病の健康チェックを行いました
- ・穴水での県民フォーラムに能登北部地域の患者、関係スタッフが集まりました
- ・糖尿病週間で全国一斉のPRを小松の大型スーパーで行いました。
- ・新しく友の会が誕生しました（金沢大学病院 バランス生活クラブ）



③会員の増強、新しい友の会の誕生、会の活性化は継続テーマです

# 1000人の会員をめざして

石川県協会3カ年計画（平成29年6月⇒平成32年6月、2020年）

石川県糖尿病協会の支部結成を1970年11月14日に確認し、  
1971年9月12日に結成総会を開催しました。  
2020年の第50回総会までの3カ年計画、  
そして石川県協会50周年の節目の事業を計画しています。

## 糖尿病協会の現在

- |             |      |          |               |
|-------------|------|----------|---------------|
| ①.会員数       | 688人 | →1000人目標 | 724人(+本部124人) |
| ②.友の会患者会の状況 | 20   | →40目標    | 1つ誕生          |



# 石川県協会の取り組み

友の会・患者会の冊子  
協会だよりの発行  
糖尿病週間の行事……

→各友の会の行事や経験が  
広がりました。

→各行事で「さかえ」誌や友  
の会・患者会のことを「知らない  
人」が多数いることがわかり  
ました。



(1) 石川県 糖尿病

## 石川県糖尿病 (日本糖尿病協会石)

石川県内の友の会・患者会  
46地区・1,000名以上  
石川県糖尿病協会(石)は、  
糖尿病の予防・治療・啓蒙  
活動に取り組んでいます。  
糖尿病の予防・治療・啓蒙  
活動に取り組んでいます。  
糖尿病の予防・治療・啓蒙  
活動に取り組んでいます。

11月14日は「世界糖尿病デー」第54周年です。  
糖尿病は国民病の一つとして、国民生活に大きな  
影響を及ぼしています。糖尿病は国民病の一つとして、  
国民生活に大きな影響を及ぼしています。糖尿病は国民病の  
一つとして、国民生活に大きな影響を及ぼしています。

月 日	開催場所	主 要 内 容
11月11日(日) 11:30-14:00	石川県民糖尿病フォーラム in 金沢 ホテル金沢 4階 エミラルドホール	講演「糖尿病は国民病の一つとして」 講演「糖尿病は国民病の一つとして」 講演「糖尿病は国民病の一つとして」
11月18日(日) 9:00-12:00	小松市 小松市民センター 小松市 小松市民センター	講演「糖尿病は国民病の一つとして」 講演「糖尿病は国民病の一つとして」 講演「糖尿病は国民病の一つとして」
11月24日(日) 13:30-16:30	公立六水総合病院 1階 講堂 公立六水総合病院 1階 講堂	講演「糖尿病は国民病の一つとして」 講演「糖尿病は国民病の一つとして」 講演「糖尿病は国民病の一つとして」

第54回 全国糖尿病週間  
石川県民糖尿病フォーラム in 金沢  
平成30年11月11日(日)  
ホテル金沢 4階 エミラルドホール

講演会  
講演「糖尿病は国民病の一つとして」  
講演「糖尿病は国民病の一つとして」  
講演「糖尿病は国民病の一つとして」

第54回 全国糖尿病週間  
石川県民糖尿病フォーラム in 能登  
平成30年11月24日(日)  
公立六水総合病院 1階 講堂

講演会  
講演「糖尿病は国民病の一つとして」  
講演「糖尿病は国民病の一つとして」  
講演「糖尿病は国民病の一つとして」

第54回 全国糖尿病週間  
小松・能登地区のついで  
11月18日(日) 9:00-12:00  
小松市 小松市民センター

講演「糖尿病は国民病の一つとして」  
講演「糖尿病は国民病の一つとして」  
講演「糖尿病は国民病の一つとして」

糖尿病のついで  
～知ろう！糖尿病 防ごう！合併症～  
糖尿病週間行事 2018  
11月18日(日) 9:00-12:00  
小松市 小松市民センター

講演「糖尿病は国民病の一つとして」  
講演「糖尿病は国民病の一つとして」  
講演「糖尿病は国民病の一つとして」

## 石川の 糖尿病友の会・ 患者会



金沢城公園ブルーライトアップ  
(2019年糖尿病週間 実行委員会主催)

## 石川県糖尿病協会 2016

## 食事勉強会



わくわく  
弁当

公立能登総合病院

# 友の会・患者会の役割

1. 会の行事を通して交流、学ぶ場になっている
2. 学び・考える場を一緒に作っていることが大事
3. 「さかえ」誌で新しい情報を知る機会となっている

高齢の患者、会員から 「これまでのように通院しにくくなってきた」「インシュリンを使っていると入れる施設がないと聞いたが不安だ」「行事に出たいと思うが一人で出歩くことができなくなってきた」の声を聴きます。

**会員のアンケートを取り組みます**

- 抱えている問題や不安に感じていることをつかむことと、
- 会員であることでの病気と上手く向かい合っている効果などをまとめたい

# 石川県協会のこれからの取り組み

## 50年の歴史と経験をまとめて次へ

友の会患者会の歴史は、「地域から病院へ、そして今、病院でも、地域でも参加できる形になっていこう」

—“病院とかかりつけ医” の治療場面での変化

—自宅でも施設でも、高齢者でも若者も、働き盛りの人もいろいろなつながり、関わりの中で治療している 地域の連携・協力が進んでいる

糖尿病への正しい理解を広め、重症化、合併症の予防を一緒に進めるために友の会患者会は求められていると考えています。

\* 9つの協議会との相談し、各地域での取り組みを進めていきたい

\* 基幹病院での会の結成、活性化を相談して進めていきたい ➤